

2019年度 第2回町田市食育推進計画策定及び推進委員会 会議録要約

会議体の名称	町田市食育推進計画推進委員会		
事務局（担当課）	保健所 保健予防課		
開催日時	2020年2月10日（月） 13:30～15:30		
開催場所	町田市保健所中町庁舎 講堂		
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 保健所長挨拶 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 次年度の食育活動について 【資料1（事前送付資料）】 (2) 2020年度まちだ食育フェスについて 【資料2～3】 4. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「まち☆ベジグルメ店なび」の配布について 【資料4】 (2) 第2次町田市食育推進計画進捗管理シートについて 【資料5】 (3) 「キラリ☆まちだ祭（農業祭）」出展報告について 【資料6】 (4) 第3期町田市食育ボランティアの養成について (5) 食育ツーリズムについて 【資料7】 (6) 食育リーフレット第11号・12号について 【資料8・9】 (7) 「さんあ～る広場」の出展報告について 5. その他 6. 閉会 		
公開の可否	会議	公開	
	会議録	公開	
出席者	委員	饗場 直美 (学識経験者) 音琴 三郎 (東京都町田市歯科医師会) 関 弥生 (町田市私立幼稚園協会：代理出席) 野末 直美 (町田市立公立小学校長会) 嶋田 敬子 (市内小学校栄養教諭) 小口 悦子 (市内大学教授) 新倉 敏和 (町田市農業協同組合) 高木 鉄雄 (市内農業者) 松井 大輔 (町田商工会議所) 福田 猛夫 (町田食品衛生協会) 村上 律子 (町田地域活動栄養士会) 坂本 愛 (町田市観光コンベンション協会) 末吉 泰子 (町田市公立小学校PTA連絡協議会) 柴床 幸子 (町田市立中学校PTA連合会)	

	事務局	保健予防課
	食育推進庁内 連絡会委員	保健総務課・農業振興課
欠席者	委員	五十子 桂祐 (町田市医師会) 千葉 勢子 (町田市法人立保育園協会) 矢島 加都美 (町田市公立中学校校長会) 富田 一女 (市内高等学校教諭) 森 一成 (町田集団給食研究会)

配付資料	<p>【配布資料】</p> <p>資料1 食に関する日・週間 (案) 【事前送付資料】</p> <p>資料2 まちだ食育フェス2020 企画書</p> <p>資料3 2019年度まちだ食育フェスチラシ</p> <p>資料4 まち☆ベジグルメ店なび</p> <p>資料5 第2次町田市食育推進計画進捗管理シート</p> <p>資料6 「キラリ☆まちだ祭 (農業祭)」の出展報告について</p> <p>資料7 食育ツーリズムの実施報告について</p> <p>資料8 町田市食育リーフレット第11号</p> <p>資料9 町田市食育リーフレット第12号</p> <p>町田市食育推進計画策定及び推進委員会 席次表 町田市食育推進計画 (貸し出し用)</p>
------	---

検 討 経 過

1. 開 会

2. 保健所長挨拶

3. 議事

(1) 次年度の食育活動について **【事前送付資料・資料1】**

事務局：第1回の委員会で“食に関わる日・週間”を町田市全体で共有することが効果的だという提案があった。これを受けて庁内連絡会において、乳幼児から高齢者、病院でも「よく噛む」という取り組みは重要であることと、まち☆ベジの普及・推進についても直接的ではないが、市内で出るごみからたい肥を作り市民農園で利用し、まち☆ベジの普及につなげる取組が出来るのでは、との意見も出た。検討し、年間のカレンダーを作成し、そ

それぞれの課での取組を載せて普及啓発をはかることとした。「よく噛む」ことについてはキャッチコピーを決めて取り組みたい。「よく噛む」ことについて庁内連絡会会員より説明する。

庁内連絡会会員：毎月8日を語呂合わせで「歯の日」とした。歯ブラシを交換する日としてはどうか。毎月30日の「カミング30の日」は平成21年に厚労省から「1口30回以上噛むことが望まれる」とされていることから提案した。4月18日と11月8日は同じ意味だが日本歯科医師会が歯科保健の啓発活動を行っている日である。4月29日はオリジナルで作った日で、歯肉の状態について振り返ってもらう日とした。6月4日～10日は「歯と口の健康週間」で歯科医師会、厚労省、文科省、学校歯科医師会で実施している週間である。6月24日はオリジナルで入れた日で「60歳で24本の歯を残しましょう」という目標で提案した。8月2日は以前からある「8020の日」の普及のために設定した。

事務局：他にも「オリパラ給食」や「野菜の日」などを提案するので、意識してほしい。また毎月第3月曜日はまち☆ベジ市を開催しているが、開催場所など知らない人もまだ多いので普及啓発のために掲載した。最終的には食育リーフレットに掲載して市民に配布できればと思っている。他にもご意見をいただきたい。

委員長：事務局より年間カレンダーについての説明があったが、これについて活用や内容の追加、修正などの意見はあるか。

委員：12月の冬至に小豆粥となっているが、町田では食べていたのか。

委員長：小豆粥は保育園や小学校では出しているようだ。食文化や伝統といった食育について取り組んでいるのは保育園・幼稚園、小学校が多い。子どもがいない環境では、食育カレンダーがあるとよい。

委員：カレンダーに季節ごとの野菜の旬を盛り込んでほしい。

委員：以前、市から商工会議所の飲食業部会に「残さず食べたら値引き」などの推進の打診があったができなかったもので、何か代替案を考えている。普及啓発のポスターの掲示は可能。だが、飲食店で「カミング30」「減塩」といってもどのように伝えたらよいか難しい。提案してもお店がやるかどうかわからない。

委員：9月に「朝ご飯食べよう月間」があるが、年度初めの4月にもあってもよいのではないか。12月のお正月月間は、華やかなおせち料理だけではなく、全国各地貧富の差に関係なく家庭で1年の計を祝ったものだと伝えても良いのではないか。

委員：地域活動栄養士会は啓発活動が主なので、イベントごとに月間や日に合わせることは難しいが、男性料理教室や子ども料理教室は毎月あるので取り入れられるかもしれない。

委員：まち☆ベジ市があるなら、第1日曜日の日曜朝市を加えても良いのではないかな。キラリ☆まちだ祭や食育フェスなど決まっているイベントを載せるのはどうか。野菜の販売はゼルビアの試合や月・木にぼっぼ町田で販売している。

委員：小学生の母としてこのカレンダーの活用法が思い浮かばない。書き込めるようなカレンダーでなくては使わない。家庭よりも学校の給食で活用していただいた方が良い。

委員：(中学生は)給食がないので、食文化を感じる機会が急に少なくなり、食文化は意識できていないと思われる。試食会のアンケートでは全員給食にしてほしいと意見が多かったようなので、その給食で学べる機会を多くしてほしい。他に食育クイズがかわいいという意見があるので、グッズを作成や、ラインのスタンプなども良いかもしれない。

委員長：小中学校の委員の意見から、このままの形では活用が難しいことが分かった。そのうえで、食育をすすめるには配られたら見るような情報提供の仕方が必要だ。食育クイズと合わせて見たくなるような媒体作り、紙ベースではなくHPや電子媒体のような形で工夫が必要なので事務局で考える。

委員：「噛む」、「食べる」、「歯磨き」の時間が無いなか、言い続けることが大事であり、乳幼児からの取組が必要。フレイルとオーラルフレイルについて、フレイル健診が今年から始まるので、宣伝を踏まえて入れてほしい。時期についてはまだ検討中。今後、医師会と薬剤師会とこれからも検討していく。

委員：本幼稚園では毎日玄米給食を行っており噛むように指導している。「カミング30」という日があるとどの園でもわかりやすく指導ができると思う。

委員：共通のカレンダーがあるのは良いと思う。「カミング30」のように毎月設定されているのは浸透しやすく良い。小学校ではHPに給食の献立を掲載し、学校で子どもたちに食に関する指導をするだけでなく、家庭でも話題にできるように発信している。閲覧数も増えてきているのでHPというツールは重要だと考える。また、保健指導で養護教諭から「噛むこと」の大切さについて説明をし、給食の時間に「30回噛んで食べよう」という取り組みをしている。このように給食の時間だけでなく保健指導とも絡めて食育を進めていくといいのではないかな。毎月1回でも体験することで習慣づけになると思う。10日を「和食の日」と提案、オリパラの開催国の料理を豆知識として入れるのもどうか。

委員：学校給食の献立に活用できると思う。まちベジの旬が入っていると有り難い。町田市教育委員会からの依頼でクックパッドに小学校の献立を提供しているので、取り入れるのも良いかもしれない。また食育カレンダーで1月の「受験にかつ井」は語呂合わせには良いかもしれないが、胃腸が弱っているこの時期のことを考えると「まちだすいとん」の方が良い。

委員：調理師専門学校での授業では調理を担当しており、フードロスと関連させて実習を行っている。その中で町田市を取組を話し、野菜レシピの冊子を使って授業の中で展開することもできた。学生は行事そのものを知っていても行事食の意味を知らないことが多いので、調べさせながら授業を行っている。先ほどフレイルの話が出たが、9月に敬老の日だけでなくフレイルの日などとしても良いのではないかと。

委員：カレンダーに合わせたレシピやオリパラと関連して、町田市はインドネシアのホストタウンになっているのでインドネシアの料理を取り入れてはどうか。

委員長：意見から、このままでの活用は難しい。これを土台にそれぞれの意見を入れていくことによって、共有できる部分があると思う。委員から月1回取り組む事があるとよいのではというご意見もあったが、「カミング30」や「食育の日」、「和食の日」、「歯の日」なども取り入れていくのも良いと思わる。また、まちベジに野菜の旬を入れていくことで給食にも活用しやすくなるという事であった。今後は実際にこのカレンダーを活用してもらえるように事務局と話し合いを重ねていきたい。

議事（2）2020年度まちだ食育フェスについて【資料2～3】

事務局：今年度は実施時期や場所を変更し、6月に健康福祉会館で行ったため、多くの関係機関に声をかけることが難しかった。次年度は多くの関係団体に参加していただきたくここでご案内したい。資料2-1について説明。内容について予定としているものでは「食に関する講演会」や「運動教室」、他に調整中ではあるが町田産の野菜や町田市の名産品の販売も予定している。是非参加協力をお願いしたい。

委員長：このようなフェスに参加することは、お互いの活動をアピール、共有することができる良い機会となるので、できるだけ多くの委員の団体の出展をしていただけたらと思う。

4. 報告事項

（1）「まち☆ベジグルメ店なび」配布について 【資料4】

庁内委員より資料4について報告を行った。

（2）第2次町田市食育推進計画進捗管理シートについて 【資料5】

事務局より資料5について説明を行った。

（3）「キラリ☆まちだ祭（農業祭）」の出展報告について【資料6-1、6-2】

事務局より資料6-1、6-2より報告を行った。

（4）第3期町田市ボランティアの養成について

事務局より説明を行った。

(5) 食育ツーリズムについて 【資料7】

事務局より資料7について説明を行った。

(6) 食育リーフレット第11・12号について 【資料8・9】

事務局より資料8・9について説明を行った。

(7) 「さんあ〜る広場」の出展報告について

事務局より報告を行った。

5. その他

事務局：本日の委員会をもって委員の皆様の任期が終わる。2年間のご尽力に感謝する。今後もこの委員会は継続していくので、各団体から次期の委員の選出の推薦をお願いしたく、3月中に推薦依頼を各団体に送付する予定なのでご協力お願いしたい。

委員長：他に報告等なければ 以上で終了とする。